

看護学部	職名	助教	氏名	清水 夏子
------	----	----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

2010年3月福岡県立大学大学院看護学研究科修士課程を卒業。専攻は看護教育学で、経験型実習教育における教員の教授行動と学生に与える影響に関する研究を行った。近年は、看護学生の東洋（漢方）医学のイメージと受講意欲に関する調査を経て、2023年度からは、東洋（漢方）医学に関する基礎看護教育の実態調査を実施しており、看護基礎教育における東洋（漢方）医学教育の必要性についての検討を継続して実践している。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

- 吉田静,安河内静子,佐藤繭子,清水夏子,石村美由紀,道園亜希：学内における女性看護学実習に関する実践報告. 福岡県立大学看護学研究紀要. 21. 2024.3

②その他最近の業績

<学会発表>

- 清水夏子. (2023). 看護基礎教育における東洋（漢方）医学教育の必要性-看護大学生に対するアンケート調査結果より-. シンポジウム「漢方でさらに深める看護の魅力～教育から実践まで～」. 第73回日本東洋医学会学術総会. 福岡

③過去の主要業績

- 安酸史子編集. 清水夏子, 他. 経験型実習教育. pp240-252. 東京. 医学書院. 2015.
- 清水夏子, 石田智恵美：看護学生の東洋（漢方）医学のイメージと「東洋医学概論」の受講意欲に関する調査研究. 福岡県立大学看護学研究紀要. 14 (1). 2017.
- 清水夏子. (2018). 漢方教育導入から9年 - 福岡県立大学における東洋医学概論のあゆみ -. 共催セミナー（招聘講演）. 第28回日本看護学教育学会学術集会. 神奈川.

3. 外部研究資金

[研究種別・研究期間・交付金額] 基盤研究（C）一般，令和5年～令和9年度，3,300千円

[研究課題] 東洋（漢方）医学に関する基礎看護教育の実態調査と現役看護師に対する教育効果の検討

4. 受賞

5. 所属学会

日本看護科学学会, 日本看護学教育学会, 日本東洋医学会, 日本看護研究学会

6. 担当授業科目

暮らしの中の看護を知る実習・1単位・2年, 基礎看護学実習Ⅱ・2単位・2～4年・通年,
リプロダクティブヘルス看護学実習・2単位・3年・通年, 専門看護学ゼミ・2単位・3年・通年,
卒業研究・2単位・4年・通年, 東洋医学概論・1単位・2年・前期, ケアリング論・2単位・3年・
前期, リプロダクティブヘルス看護学演習・2単位・3年・前期, 小児看護学演習・2単位・3年・前
期,

7. 社会貢献活動

8. 学外講義・講演

9. 附属研究所の活動等